

父島

Chichijima

ありのままにいのちが輝く、 別世界を生きる島

東京から船で24時間。1千キロに近づく海洋のどこかで、船は時空を超える。

たどり着いた先は、別世界。人も、花も、虫も、動物も、ありのままのいのちを生きる島。

人の暮らしのその先で、クジラが遊び、孵化したばかりのウミガメ達が波際を目指す。

全てがいとおしく調和する生命の営み。島の時間は、静かにそれを見守っている。

あなたは、遠くに沈む夕陽をずっと見ている。感動はどこまでも持続することに驚きながら。

気が付くと、いつの間にか、島びとは家族。この島を愛す理由を分かち合っている。

人と自然が共に、自然体で生きていく。いつからそれは難しくなったのだろう。

ただひとつ、この島でおこったことは、夢ではない。夢にしてはいけない。

島の宝物

(コンセプトを支える事実・特徴)

ヒト

訪れる人を無条件に受け入れる寛容な心

自然を愛する人々

全てがオープン

自然と共に暮らし、自然と共存

父島にいる人は、住民も観光客も、すべてが家族

モノ

世界で最も美しい海

ボニンブルーの海

独特な食文化

数々の固有種

戦跡

海鮮

農作物

コト

西洋との交流による独特な文化

島に流れる独特な時間

普段の生活を、リセットできる

自然の本物

何もないことが、贅沢で魅力的であることを知る

今まさに、新たな文化を創り出している

バ

この島を愛し、大切にしている人々が暮らす島

多様な好奇心を満たすことができる自然と文化

海を独り占めできる

人間本来持っている、望んでいるライフスタイル

自然と生きることが当たり前と感じる